

# 令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立大新小学校
作成日	令和 7年 3月 7日

## 1 教育目標

豊かな情操とまろやかな英知を育み、たくましく生きる子どもを育てる。

## 2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査における正答率について県平均を目指す</li> <li>・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で「そう思う」「まあそう思う」引き続き90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「私は学校が楽しい」の項目で「そう思う」「まあそう思う」95%以上の維持</li> <li>・「心のとびら」の活用100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室が実施する元気大作戦(生活アンケート)で運動や体を動かす遊びの達成率90%</li> <li>・元気大作戦で「寝る1時間前にはスマホなどをやめた」達成率70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの「学校の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で「そう思う」「まあそう思う」90%</li> <li>・地域や公民館などと連携した取組を、各学年1つ以上実施</li> </ul>
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「充実した話し合い学習」を取り入れた授業づくり</li> <li>○書く活動の推進</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳、人権教育の充実</li> <li>○やさしさ、思いやりある子供の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎気力・体力の充実した子供の育成</li> <li>○健康・安全についての知識と習慣の習得</li> <li>○基本的生活習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校の情報公開の推進</li> <li>○保護者や地域、関係機関との協力・連携の深化</li> <li>○学校運営協議会制度の活用</li> </ul>
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活発な話し合い学習になるための的確なねらいを捉える工夫(課題・展開・学習形態・教師の関わり方等)を行う。</li> <li>○様々な方法で書く活動を取り入れた授業を行う。</li> <li>○学級文庫、うちどく図書、学校図書館の本を利用して、学校全体で積極的に読書活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳的実践力を身に付けさせるため、「心のとびら」を活用した道徳の時間等を充実する。</li> <li>○全校で人権意識を高めるための人権をテーマにした授業を実施する。</li> <li>○「充実した話し合い学習」を通して、自己肯定感を育む土壌を醸成する。</li> <li>○心根のやさしい子を育成するための全校縦割活動や青少年赤十字活動を引き続き行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康維持及び体力の向上を目指し、年間を通じての朝マラソンやなわとびの取組を行う。</li> <li>○手洗いや歯磨き、また、外部機関との連携を図り、食後の歯磨きの習慣化に努める。</li> <li>○生活リズムの安定を図るため、「元気大作戦(生活アンケート)」を通して基本的生活習慣を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校・学年だよりや学校ホームページ等を活用してわかりやすい情報発信を行う。</li> <li>○大新太鼓、読み聞かせ等、学校ボランティアやゲストティーチャーなど外部講師を積極的に活用する。</li> <li>○大新クラブ、公民館、婦人会等、地域との積極的な交流を進める。</li> </ul>
取組の成果と課題(評価結果【C】)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査の国語・算数は、4・5年生ともに県平均を大きく上回った。</li> <li>・児童アンケートの「私は毎日の勉強がわかる」の項目で90%の児童が肯定的な回答であったが、一方で「あまりそう思わない」と答えた児童が9%いた。基礎・基本の定着を確認しながら取り組む必要がある。</li> <li>・図書ボランティアの協力を得て本を通じた交流をしていただいている。また、図書委員会を中心に本の紹介や環境づくりに取り組んでいるが、昨年度配置のあった学校司書の取組に近づけるのは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私は学校が楽しい」の項目で「思わない、あまりそう思わない」が8%あった。子供たちとの対話の時間確保を教職員がゆとりをもってできるよう、学校一丸となり取り組む。</li> <li>・「命の大切さや社会のきまりを守る態度の教育」で肯定的な回答が100%であった。また、「心のとびら」の教材の活用率も100%である。学校、学年ともに子供たちに伝わりやすい発信を引き続き実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外で運動したり遊んだりして体を動かす」ことについてのアンケート結果は、昨年度より増加しているが、依然として90%に達していない。</li> <li>・地域の方による継続したブラッシング指導では、丁寧な個別歯磨き指導をいただき、よい習慣が保持できている。今年度は、「よい歯の表彰」にて最優良校に選出された。</li> <li>・「寝る1時間前にはメディアを使うのをやめた」の元気大作戦では、昨年より向上し、70%を上回った時期があったが1月には、66.2%に下がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校や子供の様子を、わかりやすく伝えている。」の項目で、肯定的な回答が94%と昨年度より5ポイント上回った。</li> <li>・体験教室や人権標語、図書ボランティア、大新公園清掃、ふれあい食事会、見守り隊、夏祭りなど地域や保護者よりたくさんの連携・協力をいただいた。子供たちは学校の教育活動では体験できない経験をさせていただいた。</li> </ul>
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、学力向上タイムでの学びをカードで記録し、保護者に確認してもらった。次年度、より有意義な学びの時間になるよう基礎・基本の徹底をはかる。</li> <li>・国語の「読む」力を育むためにも、日ごろの読書に向き合う時間確保と興味をもってもらえるような環境づくりを考えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちとのより深い対話を重点化し、子供一人一人の気持ちに寄り添いながら、全員が「学校は楽しい」と感じてもらえる学校を目指す。</li> <li>・指導が必要な場面で即座に対応するとともに、「心のとびら」をはじめ関連する教材で学習を深め、子供の人権意識や思いやりを高める取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大休憩や昼休憩時間でのみんな遊び(外遊び)を推進し、全校縦割り(なかよし)活動でのマラソンや縄跳びなどの取組を継続させる。</li> <li>・元気大作戦を通じて、寝る1時間前のメディア使用の削減を目指し、家庭での生活習慣について家庭と連携して取組を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの各種配布物やホームページを活用し、教育用語や行事、子供たちの様子などについてわかりやすく読みたくなるような文章で積極的に発信する。</li> <li>・外部講師や地域の方々とともに、子供たちが豊かな学びや体験活動が行えるよう、心が触れ合う教育活動を行う。</li> </ul>

## 3 その他の課題

児童1人にクロムブック1台が配布され、文部科学省や和歌山市教育委員会とともにスクールDXの取組が進んでいる。児童は、朝の健康観察から自分のPCを立ち上げ、答えるといったことが日常の光景となりつつある。また、持続可能な社会づくりの担い手の育成を通じて、SDGsへの取組を学校から発信することは、必要な取組の一つである。Society 5.0の時代を生きていく子供たちの未来を見つめながら、一人一人が多様な幸せ(well-being)に気付けるよう、まずは、一人一人の子供たちに寄り添った心の触れ合いを大切にしたい学校づくりを継続して目指していく。